

SGS News Letter

第9号

発行日 2013年5月23日

学部長あいさつ

「ご入学おめでとうございます」

SGS News Letter 第9号をお届けします。

2013年4月1日より多摩大学グローバルスタディーズ学部の新学期がスタートした。新1年生にとっては、心浮かれる期待と不安が入り混じった新生活の始まりであろう。オリエンテーション期間中にTOEICの試験やプレースメント・テストなどがあり、緊張の連続であったかもしれない。

また、多摩センターのパルテノンにおける入学式で寺島学長や来賓のお話を聞き、さぞかし身が引き締まったことであろう。アメリカの大学にはオリエンテーションというイベントは存在するが、日本の入学式に相当するようなイベントはない。そういう意味では節目として大変興味深いイベントである。アメリカでは単にBack-to-School といって、学生がキャンパスに戻ると解釈されている。毎年8月から9月にかけて高校や大学がある町のスーパーマーケットではノート、筆記用具、衣類などをBack-to-School Saleで購入する人たちで賑わう光景がよく見られる。

4月8日から授業が始まり、大学生としての生活が本格的に始まった。春学期142名の新入生は、夢、目標や志を抱いて入学してきたが、いよいよそれらを実現するには努力、犠牲、集中力が必要となってくる。これから楽しいキャンパスライフが始まる。思い思いの目標に向かって進む中で、生涯の友を見つけ、今後の成長に伴われる苦悩に耐えられるようにしてほしい。新入生にとってこれからの4年間は短くも長く、時にはその逆に感じることもあろう。それぞれ学習に勤しみ、切磋琢磨して自分を磨き、アットホーム的なSGSにおいて様々なことにチャレンジすることを期待する。

これまでは、周囲を気にして失敗することを恥ずかしいと思い、一歩前に出ることをためらっていたのかもしれない。しかし、SGSではそうした思いを拭い去り、社会へ出る前の最後の準備期間として活用していただきたい。学習、友人関係、サークル活動などにおいて問題に直面したら、それを回避せず素直な気持ちで向き合ってほしい。反対意見や対立などに対して妥協することも重要であり、一生使えるスキルの一つであると考えてほしい。大学生活は、自由を謳歌できる最後の機会かもしれないが、自分の将来に関しては自分で責任を持って臨んでほしい。

アメリカの大学で、「今は親の愛情、援助を受ける側にいる、すなわち receiverである。しかし、次のステップで社会人になると援助を与える側に立つ。また、そうならなくてはならない」と教わった。要するに次のステップでは giver または provider になることを認識しなくてはならない。 Receiver と giverのギャップは大きい。新入生の皆さんは、その意味を深く理解できないであろうが、3年次生や4年次生になるにつれ、そのことを理解しつつ、社会人になるための成長を見せてくださることを今から期待している。



学部長 安田 震一 (ヤスダ シンイチ) William Shang

今後のスケジュール

6月8日(土)

TOEIC試験

7月15日(月・祝)

海の日(授業あり)

7月27日(土)

TOEIC試験

7月29日(月)

春学期 授業終了

7月30日(火)~8月3日(土)

春学期 期末試験期間

8月5日(月)

夏季休業 開始

9月19日(木)

秋入学生のオリエンテーション / TOEIC試験

9月20日(金)

秋入学式 / 秋卒業式 / 健康診断

9月21日(土)

夏季休業 終了

9月23日(月・祝)

秋分の日(授業あり) / 秋学期 授業開始

発行責任者:

学部長 安田 震一

多摩大学

グローバルスタディーズ学部

〒252-0805

神奈川県藤沢市円行802番地 TEL: 0466-82-4141 http://www.tama.ac.jp



◎成績優秀者賞

荒井梨咲・大村かなこ・田中育実 以上3名

◎課外活動賞

木村瑞穂・五本木さくら 以上2名

◎国際交流活動賞

網代航平:長谷川愛実 以上2名

平成24年度卒業式を挙行

3月20日(水)、平成24年度グローバルスタディーズ学部卒業式が湘南キャンパス EAST301教室で行われ、102名の卒業生が新たにSGSを巣立っていきました。

式典では、寺島実郎学長より、学位記が一人ひとりに授与されました。また、特別表彰 状が7名の学生に渡されました。特別表彰は、在学中に特に優秀な成績を修めた学生に贈 られる「成績優秀者賞」と課外活動に意欲的に取り組んだ学生に贈られる「課外活動 賞」、国際交流に意欲的に取り組んだ学生に贈られる「国際交流活動賞」です。

学長式辞・田村嘉浩常務理事祝辞と続き、来賓祝辞では日高京子後援会会長よりご挨拶をいただき、後援会より記念品が代表者へ手渡されました。学生を代表して大村かなこさんの英語による答辞、最後に全員による学園歌斉唱で無事幕を閉じました。卒業生一同、社会人としてさらなる高みを目指す気持ちを改めていだいたことと確信しています。

今年は保護者の皆様の出席がだいぶ少なく感じました。平成25年度の卒業式も3月20日(木)の実施ですが、平日となっています。ご子息、ご令嬢の学生生活最後の式典です。是非ご出席いただきますよう、4年生のご父母の皆様にはスケジュールの調整をお願いいたします。

平成24年度卒業生による謝恩会

卒業式後、19:00より、会場をみなとみらい、横浜ランドマーク内にある「ロイヤルパークホテル横浜」に移し、卒業生による謝恩会「Thanks Party」が100名以上の出席者の中、盛大に行われました。卒業イベント実行委員のメンバーが6月からホテル関係者との打ち合わせや準備に奔走、舞台裏は、たいへんだったと思います。実行委員のメンバーは、昨年度の先輩達の謝恩会に受付スタッフとして参加しており、その雰囲気を参考に企画運営を行い、素晴しい会であったと思います。一流シェフの手がけた料理もおいしく、学生も卒業式典の緊張から開放され、また4年間をともに過ごした仲間と、大学生活最後の1日を満喫していました。

今年も3年生の後輩学生が受付スタッフとして数名参加、来年は自分達の番と、すでに企画話しをしていました。5月中にホテルの下見を開始し、会場を決定する予定です。

第7期生の新キャンパスLIFEがSTART!

平成25年度第7期生が、4月1日(月)より、気持ちも新たに、新しい学生生活をスタートしました。

4月4日(木)には、グローバルスタディーズ学部、経営情報学部の入学式がパルテノン多摩大ホールで行われました。寺島実郎学長告辞、田村嘉浩常務理事祝辞、多摩市長の阿倍裕行様並びに多摩信用金庫理事長の佐藤浩二様の来賓の祝辞に続いて、SGS新入生を代表して永井渓一朗さんが、英語で力強く挨拶、大学生活への決意新たにしました。

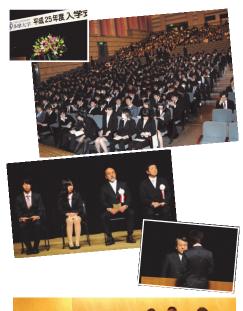
式典終了後、パルテノン多摩小ホールに会場を移し保護者懇談会を開催しました。安田 震一学部長による挨拶、教職員の紹介、日高京子後援会会長よる後援会の活動内容説明が 行われました。後援会の新役員候補として6名の保護者様から希望がありました。

新入生オリエンテーションは1日(月)~6日(土)で行われました。緊張の面持ちの中、初日には先輩達による歓迎のバーベキュー大会(学生会主催)が中庭で行われました。天候にも恵まれ、教職員や先輩達とコミュニケーションが図られました。

3日目には、多摩大学での学生生活に対する期待値を高め、意欲を持って学生生活をスタートするきっかけづくりとして、新たに「自己の探求プログラム」を導入しました。一人ひとりが自己理解を深め、自分の持ち味を認識すること、他者を通じコミュニケーション力の基礎を学ぶこと、学生間での意欲を喚起し帰属意識を高めることを研修の狙いとして行い、たいへん満足したとのアンケート結果が得られました。

また、マナー講座を実施し、「多摩大生としての挨拶」を学びました。その他、藤沢市保健所による健康セミナー、神奈川県による薬物乱用セミナー、藤沢北警察署による護身術を学ぶセミナー等、たいへん関心深く聴講していました。

アメリカンスクールによる新入生歓迎の演奏会では、先輩達も同席し、グローバルスタディーズ学部ならではの盛り上がりをみせました。





キャリア支援課

2013年3月卒(3期生)の就職は、企業 の採用意欲が若干好転したものの、前年と比較 して大きな変化はありませんでした。最終的に 就職希望者85名中、79名の就職が決まり (92.9%)、4月から社会人として働き始 めています。また、就職以外の進路を選択した 卒業生は、大学院、大学、専門学校等への進学 や留学、海外の大学院の受験準備をする等、グ ローバルスタディーズ学部の特色を生かした進 路を選択しています。なお、キャリア支援課で は、就職希望者で在学中に就職が決まらなかっ た卒業生を中心に、卒業後も継続してキャリア 支援を行っています。

主 な 就 職 先	
旅行・観光 ・イベント	カタール航空、羽田空港サービス、エイチ・アイ・エス、クラブメッド、富士屋ホテル、 国際ホテル、四季リゾーツ、共立メンテナンス、ケーヨーリゾート開発、エアサーブ
商社	日本ピソー、ヴィックスコミュニケーション、WIT'S CORPORATION、アイエスエフネット、 滑川軽銅
運輸·物流	上組、奥村組、神奈中バス、ANAケータリングサービス、国際自動車
食品	岩塚製菓、東海澱粉、鈴廣蒲鉾本店
外食	フォーシーズ、ドリームダブルコーポレーション、日本マクドナルドホールディングス、 日本食研ホールディングス、トリコロール
小売・流通	横浜日野自動車、横浜トヨペット、ケーユーホールディングス、トータス、カメガヤ、 パルタック、ハーバー研究所、エスアイ堂、九九プラス、生活協同組合コープネット事業連合
アパレル・衣料	ワールドストアパートナーズ、AOKI、リアライズワークス、ユニクロ、シティヒル、 ファイブフォックス
金融	明治安田生命保険、第一商品
機械・プラント	寺岡精工、日本ビソー、シグナス
その他製造	ザ・パック、ストラパック
情報・通信 ・メディア	ソニーミュージックエンターテインメント、NTTタウンページ、ティーガイヤ、 ビーコンインフォメーションテクノロジー、デザイン、ジェノバ、江ノ電沿線新聞社
サービス ・コンサルタント	リビエラ東京、Optimal Health Services (California)、テンプスタッフ、サニーテーブル、 キャリア、タブチ写真館、スタジオT&H、神奈川配ぜん人材紹介会社、やさしい手、 やよい堂整骨院、ネイション
教育	ECC、イッティージャパン、東名自動車学校、東京福祉大学
住宅関連	積水ハウス、ユーミーネット、オンテックス、飯田産業

国際交流課

国際交流イベント・ 夏期留学プログラム ・ 交換留学生紹介

今学期は、7名の留学ビザを持つ留学生と交換留学提携校の1 つであるロイヤルメルボルン工科大学(RMIT)からの留学生1名 がSGSに仲間入りしたので、交流を兼ねて4月26日(金)に、 たこ焼きパーティーを開催しました。 当日は50名以上の参加が あり楽しい時間を過ごしました。食後のデザートとして、SGS のクッキングサークルのメンバーが、手作りの葛餅でもてなして くれました。

また、4月16日(火)と19日(金)に夏期留学プログラムの説 明会を開催し、2日間で70名近い参加がありました。

この夏、提供する短期プログラムは以下です。

短期留学

- ______ ・J-SHINEプログラム(オーストラリア) ・モナシュ大学(オーストラリア)
- ・クライストチャーチ工科大学(ニュージーランド) ・ハワイ大学(米国)
- ·UCLA (米国) ·シェフィールド大学(英国)
- ・バンクーバーアイランド大学(カナダ)
- ・マサリク大学におけるアカデミックプログラム(チェコ)
- ・インドにおけるコミュニティーサービス活動
- ・台湾におけるコミュニティーサービス活動

~ 交換留学生紹介~ Mr. Henry Hughes

(ロイヤルメルボルン工科大学)

In just a short time here I've made dozens of friends and have enjoyed my interesting classes. Everyone here is so nice and has made my time very special.

(SGSに来てから少ししか経っていませんが、たくさんの友達ができ、 授業も興味深く楽しんでいます。SGSのみなさんがとても親切で優し いので特別の時間を過ごせています。)



グローバルスタディーズ学部では、学生会の主催する イベント参加を奨励しています。学生会は、学生の総意 に基づき、本学の学生活動に係る各種団体を通じ、本学 の発展、向上及び地域に貢献し、より良い学生生活及び 学生の活動を行うために組織されています。

平成25年度学生会主催学内イベントの年間行事を発 表いたしました。ひとりでも多くの学生が参加し、学園 生活を満喫していただきたいと思います。



平成25年度 学生会主催 学内イベント年間行事予定

・学生防犯パトロール隊「たまパト」

・新入生歓迎バーベキュー大会 4月1日(月) 5月18日(土) ·读足 ·第8回World Cafe 6月10日(月) ·工場見学会 6月下旬 ·球技大会 7月20日(土) ·救急法議習会 8月 5日(月) ・ハケ岳自然体験ツアー 9月11日(水)~13日(金) ·第9回World Cafe 10月7日(月) ·第7回SGS Festa(学園祭) 11月2日(土)~3日(日) ・第1回ボーリング大会 11B27B(zk) ·SGS Winter Music Festa/Winter Holiday Party 12月20日(金) ·学生会総選挙 1月14日(火)~20日(月) ・スキー・スノーボードツアー 2月7日(金)~10日(月) ・4送会(4年生を送る会)

未定

毎月10日・20日・27日・30日

OPEN CAMPUS 2013

多摩大学のオープンキャンパスは、在学生によるプログラムや、実際の授業を体験できる模擬授業など盛りだくさんです。 質問や不安なことは、個別相談でご対応します。保護者の方だけでもご参加いただけます。 ご近所の方、後輩の高校生にご紹介いただきますようお願いいたします。

▲オープンキャンパスはいつやってるの?

オープシキャシバス目程



入試課 TFI:0466-83-7911 5/26 SUN 13:00~16:00

9/29 SUN

9/29 SUN 13:00~16:00 6/23 SUN 13:00~16:00

10/13 SUN 13:00~16:00 7/28 SUN 11:00~16:00

11/10_{SUN}

8/4 SUN 11:00~16:00

12/1_{SUN}

13:00~16:00

8/11 SUN 11:00~16:00

12/8 SUN 13:00~16:00

新任教員挨拶

小塚 暁絵 先生 Akie Kozuka

4月よりAEPのスピーキング・コースを担当しています。専門は非母語としての英語教育TESOLです。私の授業では、学習者が言語や異文化についての知識を習得しな



がら、授業を通して学んだことを自分の人生、生活と結びつけて理解を深めることを目標としています。また、 言語と文化についての学びを通して、自国文化について、また、自分自身について新しい発見をし、それを発信 して行く術を身につけられるような授業を展開することを意図しています。コミュニケーション・ツールとして の英語を習得し、それを自由に駆使することで、学生自身の未来に新しい可能性を切り拓けるようなお手伝いを したいと思っています。

殆どの学生たちと同じように、私も中学1年生から英語を学び始め、日本で16年間の教育を受けましたので、外国語としての英語を日本で学ぶことの難しさを体験しております。その上で、大学時代には英国・米国へ

短期留学し、また、5年間児童英語教育に携わった後に大学院に社会人留学いたしました。これらの留学経験に加え、スタディーツアーやバック・バックの旅で訪れた15カ国以上の国々での出会いや経験を踏まえ、学生たちに興味をもっていただけるような授業を提供したいと思っています。質問や相談がございましたら、日々のクラスだけでなく、オフィス・アワーもご利用いただくよう、保護者の方々からも、ご子息・ご令嬢にお伝えください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新任教員挨拶

西井 賢太郎 先生 Kentaro Nishii

保護者の皆様、初めまして。この4月専任講師に着任いたしました西井と申 します。2009年4月に本学部で非常勤講師としてスタートして4年間、2



年生必修科目の『資格英語』を担当させていただいたので、SGSでの教務歴は既に5年目となります。今年度からは『資格英語』に加え、新たに『AEP Listening』『AEP Reading』のクラスも担当しております。

この4年間、SGSでの英語教育を通して大変よい勉強をさせていただきながら、私が一貫して大切にしている姿勢、それは「なかなか最初の一歩を踏み出せずにいる学生こそ励ます」です。これは、自分が高校時代からずっと苦手科目だった英語と、図らずも現在まで向き合い続けてきた自身の経験から得たものを、一人でも多くの学生に還元したいという想いに他なりません。

現在、ご子息、ご令嬢の英語力はいかがでしょうか。すでに相当な英語力を持っている学生はさておき、今ひとつ英語力が伸び悩んでいる学生をご心配の保護者の皆様のために、本日は恥を忍んで、私の過去を少しだけ明

かして(?)しまう覚悟をいたしました。

まず、私が英語を教えることを生業にした最大の理由はというと…実は「単なる偶然」なのです。ちょうど今の学生達が誕生した 90年代前半に大学生だった私は、当時コンビニの深夜バイトをしていました。他のバイトを探していたところ、ちょうど近所の先輩から紹介され、ある小中学生向け進学塾の講師面接を受けました。希望科目は、当時最も自信があった「数学」。無事採用が決まり、横浜市青葉区にあった校舎へ配属。すっかり数学を教える気で校長先生に会い、時間割をもらったところ、なんと私の名前が、高校時代から一番嫌いで苦手(高校の評定平均2.2)だった「英語」のところにずらっと並んでいるではありませんか…(絶句)。

理由を聞いたところ、単に「英語講師が極端に不足しているため」とか。断ろうとしましたが、校長になだめすかされ、当時はまだバブル経済の余韻で時給もまあまあ、釣られて渋々引き受けました。そして、初対面したばかりの校長の次のセリフにまた絶句。「つきましては、明日から中3の授業に入ってください(単元は『現在完了』)」「え?研修とかしないんですか?」「そういうのは後にしましょう」…翌日の授業では何を話したか全く覚えていません。

以上のような自分自身の体験談を交えつつ、私の講義は始まります。32歳にして初めての海外留学。下は小学生から上は社会人まで、日本、英国の様々な現場での教務経験。現在の研究分野は「専門科目(社会科学・自然科学)における英語」「マクロ経済学」です。大学生の頃の私と同じく「最初の一歩をなかなか踏み出せずにいる」、今日もそんな学生達を励まし続けております。